

# 第 49 期 報 告 書

平成22年度〔平成22年4月1日から  
平成23年3月31日まで〕

事 業 報 告 書  
貸 借 対 照 表  
正味財産増減計算書  
(事業費明細書)  
財 産 目 録  
平成23年度事業計画書  
平成23年度収支予算書

**財団法人 明治安田厚生事業団**

東京都新宿区西新宿一丁目8番3号

このたびの東日本大震災により被災された皆さまに謹んで  
お見舞い申し上げます。

皆さまのご健康と一日も早い復興を心よりお祈りいたします。  
弊事業団といたしましては、被災者の皆さまへ出来る限りの  
支援を行ってまいります。

# 平成22年度事業概況

## I 全般的概況

平成22年度は、明治安田生命グループの社会貢献活動の一翼を担い、広く一般の健康増進に寄与するため、以下の活動を展開した。

体力医学研究事業では、「社会に開かれた研究活動」を基本に「運動を活用した心身の健康増進に関する研究」をコアスタディとして各研究課題を推進した。基礎研究では、運動が脳機能ならびに睡眠に及ぼす影響について検討した。実践研究では、ライフステージに応じた運動の有効性について検討を行った。これらの研究活動により、年間を通しての学会発表、論文、報告書数は51題を数えた。

健診事業では、受診者および健康保険組合のニーズに応えるために人間ドック以外の健診コースを幅広く充実させたほか、前年度に引き続き女性受診日を11日増加させゆとりある健診態勢を目指した。さらにマンモグラフィ・超音波装置のデジタル化を推進し、画像診断のデジタル化がほぼ完了した。

しかし、健診受診者数は年度後半から伸び悩み、3月の東日本大震災による3日間の休業等の影響も加わり、前年度を402人下回る14,864人となった。

ウェルネス事業では、「社会に貢献できる健康づくりコンサルタント活動」に努め、特に生活習慣病の予防・改善を目的とした健康づくりプログラムを実施した。弊健診センターの健診受診者を対象として前年度開設した「健康支援室」では、支援内容を見直し、対象者を特定保健指導非該当の高血糖者を優先したプライマリ健康づくり支援を開始した。さらに、運動の血管への影響を評価する新指標として開発している「血管フィットネス」について基礎的検討を行なった。

これらの活動数は総計421回、参加者総数は2,335人を数えた。

研究助成事業では、第27回健康医科学研究助成を実施し、149件の応募の中から15件に対して助成金を贈呈した。また、第26回健康医科学研究助成論文集を刊行し、優秀賞1件を選定した。

## Ⅱ 事業別概況

### 〔体力医学研究事業〕

#### 1. コアスタディ「運動を活用した心身の健康増進に関する研究」

- ア. 運動が脳機能および精神疾患に及ぼす影響
  - ・運動が脳機能に及ぼす影響
  - ・精神疾患患者へのスポーツ・レクリエーションの介入効果
- イ. 低強度運動が生理応答に及ぼす影響
  - ・睡眠改善のための低強度運動が深部体温およびストレス反応に及ぼす影響
- ウ. 抑うつに及ぼす職業性ストレス・運動の影響
  - ・勤労者における職業性ストレス、余暇身体活動、抑うつの相互関係の検討
- エ. 親子運動あそびプログラムの効果検証
  - ・こどもの心身の健康増進を狙いとした親子運動あそびプログラムの介入効果
- オ. 運動・スポーツ活動がストレス・メンタルヘルスに及ぼす影響
  - ・青年期の運動部・スポーツクラブ活動とストレス反応・メンタルヘルスとの関係

#### 2. 研究室別研究

- ア. 運動生理学研究室
  - ・姿勢制御機構に関する研究
  - ・家族機能に関する研究
- イ. 運動生化学研究室
  - ・脳機能評価法の検討
  - ・唾液によるストレス評価法の検討
- ウ. 運動疫学研究室
  - ・住民ボランティア活動の有効性の検討

#### 3. 外部機関との共同研究

- ア. 科学研究費補助金研究
  - ・高齢者の軽症うつ病に対する運動の効果
  - ・高齢者の身体活動や外出に関わる環境要因の検討

#### 4. 学会・研究会活動

##### ア. 研究発表

- ・コアスタディ：19題
- ・研究室別研究：19題
- ・健診、フィットネス研究：2題

##### (1) 国内学会（合計34題）

- ・日本体力医学会：9題
- ・日本体育学会：1題
- ・日本公衆衛生学会：6題
- ・日本健康教育学会：3題
- ・日本産業衛生学会：1題
- ・日本疫学会：1題
- ・日本老年医学会：1題
- ・日本磁気共鳴医学会：3題
- ・日本精神障害者リハビリテーション学会：1題
- ・日本保健科学学会：2題
- ・日本人間工学会：1題
- ・日本人間工学会関東支部大会：1題
- ・日本発育発達学会：1題
- ・日本総合健診医学会：1題
- ・日本人間ドック学会：1題
- ・産業保健研究会：1題

##### (2) 国際学会（合計6題）

- ・The 3rd International Congress on Physical Activity and Public Health  
：1題（Canada）
- ・The 15th Annual Congress of the European College of Sport Science  
：1題（Turkey）
- ・American College of Sport Medicine 57 th Annual meeting：1題（USA）
- ・The 20th International Union for Health Promotion and Education World  
Conference on Health Promotion - Geneva 2010：1題（Switzerland）
- ・2010 Asics Conference of Science and Medicine in Sport：1題（Australia）
- ・The 2011 International conference on Sports, Health, Leisure and Recreation  
：1題（Taiwan）

##### イ. 論文・報告書などの出版

- ・コアスタディ：5題
- ・研究室別研究：6題

#### 5. その他の活動

##### ア. 体力研究108号の刊行

##### イ. 第26回健康医科学研究助成論文集「健康医科学」の刊行

##### ウ. 体力医学研究所ホームページによる情報提供

## 〔健診事業〕

### 1. 男女別・年齢階級別受診者数

	男		女		計	
	受診者数(人)	占率(%)	受診者数(人)	占率(%)	受診者数(人)	占率(%)
60歳以上	1,880	25.0	1,508	20.5	3,388	22.8
50～59歳	1,800	23.9	1,844	25.1	3,644	24.5
40～49歳	2,240	29.8	2,251	30.6	4,491	30.2
35～39歳	843	11.2	835	11.4	1,678	11.3
30～34歳	457	6.1	524	7.1	981	6.6
29歳以下	299	4.0	383	5.2	682	4.6
合 計	7,519	100.0	7,345	100.0	14,864	100.0

- (1) 総受診者数14,864人で前年度より402人減少
- (2) 男女別の占率は、男性50.6%、女性49.4%で、引き続き若干女性の占率が増加
- (3) 年齢階級別では34歳以下の受診者数が1,663人（占率11.2%）と前年度より1.6%増加

### 2. その他受診者に関する事項

- (1) 一般と団体との占率  
一般が804人（5.4%）、団体が14,060人（94.6%）で、従来同様団体中心の受診者構成
- (2) 継続受診者率  
継続受診者率は78.4%で、前年度より0.7%増加。新規受診者は3,209人と前年度より192人減少
- (3) 二次検査受診者数  
二次検査は、胃部内視鏡検査54人、胸部X線検査29人等で、合計261人
- (4) 婦人科検査受診率  
婦人科検査受診者数は5,228人で受診率は71.2%と、前年度より0.5%減少
- (5) 乳房検査受診率  
乳房専門医による視触診と画像診断（エコー、マンモグラフィ）により実施。受診者数は5,677人で受診率は77.3%と、前年度より2.0%減少

### 3. 検査結果

健診結果の検査対象疾患別判定の占率状況は、次の表に示したとおりである。

なお、「精密検査が必要」と判定された占率が最も高率に認められた疾患は男性では眼科（7.3%）、女性では食道・胃疾患（5.8%）であった。

また、生活習慣病といわれる肥満、脂質異常症（高コレステロール血症、高中性脂肪血症）、肝機能障害、耐糖能障害は、男女差があるものの「C」判定が多く、食事、運動を中心とした生活習慣の影響が示唆された。

検査対象疾患別判定占率一覧表

単位：％

疾患名	検査方法	性別	判定区分				癌の発見数
			C	D1	D2	E	
肥満(過体重)	身体測定	男	64.4	0.0	0.0	0.0	
		女	54.3	0.0	0.0	0.0	
呼吸器疾患	胸部X線	男	29.0	0.0	2.1	0.7	肺癌 5
		女	18.7	0.0	2.5	0.3	
高血圧	血圧測定	男	10.1	0.3	0.0	4.5	
		女	4.1	0.1	0.0	1.3	
高コレステロール	血液生化学	男	12.6	1.5	0.0	0.8	
		女	14.2	1.4	0.0	1.1	
高中性脂肪	血液生化学	男	19.8	2.2	0.0	2.6	
		女	4.8	0.6	0.0	1.0	
高尿酸	血液生化学	男	19.6	3.7	0.0	2.1	
		女	1.2	0.4	0.0	0.0	
心電図異常	心電図	男	21.1	0.1	3.3	0.7	
		女	9.9	0.0	1.3	0.1	
腎・尿路疾患	腹部超音波 尿検査	男	25.8	0.0	4.7	0.4	腎臓癌 5
		女	26.4	0.0	3.9	0.2	膀胱癌 1
食道・胃疾患	胃部X線 胃内視鏡	男	10.2	0.3	5.8	0.0	胃癌 10
		女	14.9	0.1	5.0	0.0	食道癌 2
十二指腸疾患	胃部X線	男	2.7	0.1	0.4	0.0	
		女	1.2	0.0	0.1	0.0	
胆石・胆のうポリープ	腹部超音波	男	20.5	0.0	0.5	0.0	胆のう癌 1
		女	13.9	0.0	0.5	0.0	
肝機能障害(脂肪肝含)	血液生化学	男	52.2	0.0	1.2	0.6	肝臓癌 1
		女	22.8	0.0	0.6	0.2	
糖尿病(耐糖能障害)	血液生化学	男	17.0	3.6	2.0	4.6	
		女	13.3	1.0	1.3	1.2	
眼科	眼底・眼圧	男	22.5	0.1	7.3	3.3	
		女	16.0	0.0	4.7	2.7	
肛門・大腸疾患	便潜血反応	男	0.0	0.0	6.5	0.0	大腸癌 6
		女	0.5	0.0	3.7	0.0	
前立腺疾患	PSA検査	男	0.0	0.0	1.7	0.0	前立腺癌 9
		女	—	—	—	—	
婦人科	婦人科	男	—	—	—	—	
		女	11.3	1.8	3.4	0.8	
乳房疾患	触診・超音波 マンモグラフィ	男	—	—	—	—	乳癌 4
		女	2.1	0.0	0.4	0.0	
その他の疾患		男	8.6	0.0	0.9	0.2	その他の癌 7
		女	10.3	0.0	1.9	0.7	

(注) 1. 疾患別判定占率(%)は、総受診者数に対する割合。ただし、腹部エコー検査(受診率88.7%)、PSA検査(受診率40.6%)、婦人科検査(受診率71.2%)、および乳房検査(受診率77.3%)はそれぞれの受診者に対する割合

2. 判定区分(平成16年度より日本人間ドック学会に準拠)

C:生活習慣の改善ならびに経過観察が必要

D1:治療が必要 D2:精密検査が必要

E:継続治療

3. その他の癌は甲状腺癌、膵臓癌など

## 〔ウェルネス事業〕

<b>1. 健康・体力づくり実践指導活動</b>		<b>合計活動数</b>	<b>410回</b>
		<b>合計参加人数</b>	<b>1,831人</b>
ア. 健康度測定・相談			
・「運動健診」	開催数	84回：参加人数	191人
・「生活改善健診」	開催数	4回：参加人数	5人
イ. 健康づくり支援			
・「健康支援室」	開催数	82回：参加人数	412人
・「生活チェック」	開催数	90回：参加人数	266人
・「生活改善サポート」	開催数	39回：参加人数	192人
・「個別相談」	開催数	10回：参加人数	10人
ウ. 特定保健指導	開催数	12回：参加人数	13人
エ. 運動実践プログラム			
・「MYヘルスプログラム」	開催数	83回：参加人数	720人
・「ヘルスアップMYレージ」		登録者数	28人
オ. その他	開催数	6回：参加人数	22人
<b>2. 健康づくりコンサルタント活動</b>		<b>合計活動数</b>	<b>11回</b>
		<b>合計参加人数</b>	<b>504人</b>
ア. 行政への保健事業の支援			
	開催数	4回：参加人数	160人
イ. 企業、団体、機関などへの健康づくりに関する支援			
	開催数	7回：参加人数	344人
<b>3. 総計</b>		<b>総活動数</b>	<b>421回</b>
		<b>総参加人数</b>	<b>2,335人</b>

## 〔研究助成事業〕

第27回健康医科学研究助成の公募を平成22年6月から10月にかけて実施した。大学および各種研究機関などから149件の応募があり、各選考委員の審査、選考委員会での厳正な審査を経て次表の15件を選出した。

助成金額は一律100万円（総額1,500万円）である。

これまでの助成対象研究は482件、4億8,150万円に達した。また、前年度研究助成の成果を第26回健康医科学研究助成論文集として発行し、この中から優秀賞1件を選定した。

なお、平成23年3月18日に予定されていた助成金贈呈式は、3月11日に発生した東日本大震災の影響を踏まえて中止とした。

## 第27回（平成22年度）健康医科学研究助成受贈者一覧

（五十音順・敬称略）

氏 名 (共同研究者数)	所 属	研 究 テ ー マ
大林 賢史 (1人)	奈良県立医科大学 住居医学講座	温熱・光住環境と血圧モーニングサージおよび夜間血圧変動に関する横断研究
片山 敬章 (2人)	名古屋大学 総合保健体育科学センター	低酸素環境における有酸素性運動が血管拡張能に及ぼす影響
鎌田 真光 (2人)	身体教育医学研究所うなん	身体活動の運動器疾患に対する1次予防効果に関する研究 －前向きコホート研究－
紙上 敬太 (1人)	University of Illinois at Urbana-Champaign Department of Kinesiology	習慣的運動が子供の認知機能に与える影響 －健康脳の育て方－
河野 寛 (5人)	早稲田大学 スポーツ科学学術院	食欲を制御させる運動様式の探索
金 孟奎 (3人)	順天堂大学 医学部	運動耐容能を決定する新たな因子の探索 －心筋細胞内の脂質蓄積と動脈硬化度から－
黒坂 光寿 (3人)	東海大学体育学部 生涯スポーツ学科	日本人サルコペニアの筋肉量および筋力トレーニング効果を規定する遺伝子多型の探索
坂本 愛子 (5人)	東京大学大学院医学系研究科 医学部	ウエスト周囲径・体重の減少は動脈硬化の進展を制御するかどうかについての検討
櫻井 拓也 (3人)	杏林大学 医学部	運動は肥満・糖尿病によるアルツハイマー病発症リスクを軽減するか
重松 良祐 (2人)	三重大学 教育学部	効果が検証された運動プログラムを地域に普及させるトランスレーショナル・リサーチ
菅原 順 (1人)	独立行政法人産業技術総合研究所 ヒューマンライフテクノロジー研究部門	閉経後女性の中心循環特性に対する有酸素性運動トレーニングの効果
西島 壮 (1人)	首都大学東京 人間健康科学研究科	一過性運動に対する海馬細胞外プロテアーゼ動態の解明
飛田 哲朗 (2人)	国立長寿医療研究センター 整形外科	高齢者の転倒・骨折予防を目的とした、加齢性筋肉減少症（サルコペニア）の診断法の開発
村木 重之 (3人)	東京大学医学部附属病院 臨床運動器医学講座	高齢者における運動機能低下の危険因子および転倒との関連の解明
森 秀一 (4人)	東京都健康長寿医療センター研究所 老年病研究チーム	運動トレーニングは老化による神経筋シナプスの変性を予防できるか

（以上15件、一律100万円を助成。なお、所属は応募当時のものを記載）

### Ⅲ 評議員会に関する事項

1. 平成22年6月11日（金）午後5時00分、東京都千代田区丸の内2-3-1、三菱クラブにおいて、平成22年評議員会を開催。

#### 会 議 の 目 的 事 項

- 第1号議案 理事・監事選任の件
- 第2号報告 理事長選任の件
- 第3号報告 評議員委嘱の件
- 第4号報告 平成21年度事業報告および決算の件
- 第5号報告 平成22年度経営計画および予算の件
- 第6号報告 体力医学研究の概要の件  
— 「運動とメンタルヘルス」の研究計画概要 —  
(平成21年度実施事項、平成22年度計画)
- 第7号報告 研究員報告の件  
「運動の精神的効用を探る — 脳科学的・心理学的アプローチ —」

#### 総評議員数および出席評議員数

- (1) 総評議員数 11人
- (2) 出席評議員数 11人（うち委任状によるもの1人）

#### 議 事

1. 寄付行為第31条の規定に従って、評議員互選により評議員柴田博氏を議長に選任し、議長は寄付行為第32条の規定に従い、評議員仲村英一氏および評議員浅見高明氏を議事録署名人に指名し、両氏はこれを承諾した。
2. 議長は、第1号議案「理事・監事選任の件」を上議し、以下の審議を求めたところ全員異議なくこれを承認可決した。
  - (1) 再任者  
＜理事＞佐藤安弘氏、蔵本博行氏、宮坂信之氏、加賀谷淳子氏、馬詰良樹氏、貴島政邑氏
  - (2) 辞任者  
＜理事＞葉狩浩一氏
  - (3) 新任者  
＜理事＞栗原敏氏、米田克巳氏  
＜監事＞富林和雄氏、永田誠氏
3. 議長は、第2号報告「理事長選任の件」を上議し、米田克巳氏の理事長選任について、理事会に上議されることを報告した。
4. 議長は、第3号報告「評議員委嘱の件」を上議し、評議員委嘱について理事会に上議することを報告した。
5. 議長は、第4号報告「平成21年度事業部門報告および決算の件」を上議し、当事業団の業績は、順調に伸展して所期の成果をあげた旨報告し、併せて主要業績を列挙して報告した。

6. 議長は、第5号報告「平成22年度事業部門計画および予算の件」を上議し、平成22年度の事業計画および予算の概要について報告した。
7. 議長は、第6号報告「体力医学研究の概要の件（「運動とメンタルヘルス」の研究計画概要）」を上議し、体力医学研究所所長 永松俊哉氏を指名し説明を求めた。
8. 最後に議長は、第7号報告「運動の精神的効用を探る — 脳科学的・心理学的アプローチ —」を上議し、体力医学研究所研究員 泉水宏臣氏を指名し説明を求めた。

以上をもって議事を終了したので、午後5時30分、議長は閉会を宣言した。

## IV 理事会に関する事項

1. 平成22年6月11日（金）午後5時30分、東京都千代田区丸の内2-3-1、三菱クラブにおいて、平成22年理事会を開催。

### 会 議 の 目 的 事 項

- 第1号議案 評議員委嘱の件
- 第2号議案 理事長選任の件
- 第3号議案 平成21年度事業報告および決算の件
- 第4号議案 平成22年度経営計画および予算の件
- 第5号議案 体力医学研究の概要の件  
— 「運動とメンタルヘルス」の研究計画概要 —  
(平成21年度実施事項、平成22年度計画)
- 第6号報告 理事・監事選任の件
- 第7号報告 研究員報告の件  
「運動の精神的効用を探る — 脳科学的・心理学的アプローチ —」

### 総理事数および出席理事数

- (1) 総理事数 12人
- (2) 出席理事数 12人（うち委任状によるもの4人）

### 議 事

1. 開会に先立ち、理事高井邦美氏より、現在の総理事数12人のうち、本日の出席理事数は12人であり、寄付行為第22条並びに第24条の規定によって本日の理事会は有効に成立した旨、議場に報告した。
2. 理事長葉狩浩一氏は、寄付行為第21条の規定により、議長を務める旨を述べて開会を宣言した後、寄付行為第26条の規定に従って、理事貴島政邑氏および理事高井邦美氏を議事録署名人に指名し、両氏はこれを受諾した。
3. 議長は、第1号議案「評議員委嘱の件」を上議し、以下の審議をもとめたところ、全員異議なくこれを承認可決した。
  - ・再任者  
仲村英一氏、浅見高明氏、柴田博氏、菅原弘子氏、下門顯太郎氏、上坊敏子氏、江橋博氏、内田賢氏、三好裕司氏
4. 議長は、第2号議案「理事長選任の件」を上議し、米田克巳氏の理事長選任について審議をもとめたところ、全員異議なく承認可決した。
5. 議長は、第3号議案「平成21年度部門報告および決算承認の件」を上議し、まず平成21年度事業報告につき、各部門別に主要業績を列挙して報告するとともに、事業団全体を通じ、順調に進展して所期の成果をあげることが出来た旨の説明を行った。
  - 次に、平成21年度決算に関し、議長は、貸借対照表、正味財産増減計算書、事業費明細書および財産目録等の各案を各理事に配布し、主要事項につき説明を行った。

引きつづき監事富林和雄氏は、これらの諸表を厳正に監査した結果、いずれも適法かつ正確であることを認めた旨、前監事 内海郁夫氏より報告を受けたことを述べた。

議長は各理事に審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、原案どおり承認可決した。

6. 議長は、第4号議案「平成22年度部門計画および予算決定の件」を上議し、平成22年度の事業計画の概要について説明を行った。質疑応答の後、全員異議なく承認された。

次に、平成22年度予算に関し、議長は、新年度開始以前に理事会を開催することができなかつたため、本年度4月以降経常収支のみ暫定予算を実施し、前年度予算に準じて収入・支出した旨を述べて了承を求め、次いで予算案を配布して、収入、支出の部および収支差額等主要事項を中心に説明を行い、審議を求めたところ、全員異議なく承認された。

7. 議長は、第5議案「体力医学研究の概要の件（「運動とメンタルヘルス」の研究計画概要）」を上議し、体力医学研究所所長 永松俊哉氏を指名し説明を求めた。質疑応答を行い原案どおり承認された。

8. 議長は、第6号報告「理事・監事選任の件」を上議し、評議員会で議決された異動の内容を次のとおり報告した。

(1) 再任者

<理事>佐藤安弘氏、蔵本博行氏、宮坂信之氏、加賀谷淳子氏、馬詰良樹氏、貴島政邑氏

(2) 辞任者

<理事>葉狩浩一氏

(3) 新任者

<理事>栗原敏氏、米田克巳氏

<監事>富林和雄氏、永田誠氏

9. 最後に議長は、第7号報告「研究員報告の件（運動の精神的効用を探る ― 脳科学的・心理学的アプローチ ―）」を上議し、体力医学研究所研究員 泉水宏臣氏を指名し説明を求めた。

以上をもって議事を終了したので、午後6時、議長は閉会を宣言した。

## V 出版に関する事項

### 平成22年度刊行物一覧

刊行物名	号数(タイトル)	刊行月	部数
体力研究	No.108	平成22年4月	1,000部
健康医科学	第26回健康医科学 研究助成論文集	平成23年3月	1,300部

## VI 寄付に関する事項

平成22年度は、明治安田生命保険相互会社から下記のとおり寄付をいただいた。

受領年月日	金額(円)
平成22年5月26日	100,000,000
平成22年9月15日	100,000,000
平成23年1月14日	76,000,000

I 貸借対照表

II 正味財産増減計算書  
(事業費明細書)

III 財産目録

# I 貸借対照表総括表

平成23年3月31日現在

(単位：円)

科 目	合 計 額	一般事業会計	特別事業会計
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	173,315,444	116,859,065	56,456,379
前払金	12,122,261	4,026,327	8,095,934
未収金	41,130,249	0	41,130,249
貯蔵品	2,982,065	0	2,982,065
流動資産合計	229,550,019	120,885,392	108,664,627
2. 固定資産			
基本財産			
普通預金基本	0	0	0
定期預金基本	250,000,000	250,000,000	0
基本財産合計	250,000,000	250,000,000	0
特定資産			
退職給付引当預金	74,985,245	51,985,245	23,000,000
機器購入積立預金	68,267,817	23,792,229	44,475,588
50周年記念積立預金	4,000,000	4,000,000	0
特定資産合計	147,253,062	79,777,474	67,475,588
その他の固定資産			
建物附属設備	32,180,748	7,661,383	24,519,365
器具備品	144,233,402	38,642,633	105,590,769
電話加入権	863,700	863,700	0
リサイクル預託金	15,510	15,510	0
元入金	0	137,515,855	△ 137,515,855
その他の資産合計	177,293,360	184,699,081	△ 7,405,721
無形固定資産			
ソフトウェア	26,482,751	17,246,229	9,236,522
無形固定資産合計	26,482,751	17,246,229	9,236,522
固定資産合計	601,029,173	531,722,784	69,306,389
<b>資産合計</b>	<b>830,579,192</b>	<b>652,608,176</b>	<b>177,971,016</b>
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
預り金	5,633,064	5,633,064	0
未払金	78,436,732	29,754,523	48,682,209
未払法人税等	120,000	50,000	70,000
流動負債合計	84,189,796	35,437,587	48,752,209
2. 固定負債			
退職給付引当金	63,765,185	34,311,765	29,453,420
固定負債合計	63,765,185	34,311,765	29,453,420
<b>負債合計</b>	<b>147,954,981</b>	<b>69,749,352</b>	<b>78,205,629</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
指定正味財産	0	0	0
一般正味財産	682,624,211	582,858,824	99,765,387
(うち基本財産への充当額)	(250,000,000)	(250,000,000)	( 0)
正味財産合計	<b>682,624,211</b>	<b>582,858,824</b>	<b>99,765,387</b>
<b>負債・正味財産</b>	<b>830,579,192</b>	<b>652,608,176</b>	<b>177,971,016</b>

## 貸借対照表(一般事業)

平成23年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	116,859,065	129,825,005	△ 12,965,940
前払金	4,026,327	4,026,327	0
未収金	0	0	0
流動資産合計	120,885,392	133,851,332	△ 12,965,940
2. 固定資産			
基本財産			
普通預金基本	0	70,000,000	△ 70,000,000
定期預金基本	250,000,000	180,000,000	70,000,000
基本財産合計	250,000,000	250,000,000	0
特定資産			
退職給付引当預金	51,985,245	51,985,245	0
機器購入積立預金	23,792,229	42,595,029	△ 18,802,800
50周年記念積立預金	4,000,000	4,000,000	0
特定資産合計	79,777,474	98,580,274	△ 18,802,800
その他の固定資産			
建物附属設備	7,661,383	8,605,626	△ 944,243
器具備品	38,642,633	41,358,539	△ 2,715,906
電話加入権	863,700	863,700	0
リサイクル預託金	15,510	0	15,510
元入金	137,515,855	108,263,437	29,252,418
その他の資産合計	184,699,081	159,091,302	25,607,779
無形固定資産			
ソフトウェア	17,246,229	2,702,420	14,543,809
無形固定資産合計	17,246,229	2,702,420	14,543,809
固定資産合計	531,722,784	510,373,996	21,348,788
<b>資産合計</b>	<b>652,608,176</b>	<b>644,225,328</b>	<b>8,382,848</b>
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
預り金	5,633,064	5,228,278	404,786
未払金	29,754,523	28,781,452	973,071
未払法人税等	50,000	50,000	0
流動負債合計	35,437,587	34,059,730	1,377,857
2. 固定負債			
退職給付引当金	34,311,765	30,530,412	3,781,353
固定負債合計	34,311,765	30,530,412	3,781,353
<b>負債合計</b>	<b>69,749,352</b>	<b>64,590,142</b>	<b>5,159,210</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
指定正味財産	0	0	0
一般正味財産	582,858,824	579,635,186	3,223,638
(うち基本財産への充当額)	(250,000,000)	(250,000,000)	0
<b>正味財産合計</b>	<b>582,858,824</b>	<b>579,635,186</b>	<b>3,223,638</b>
<b>負債・正味財産</b>	<b>652,608,176</b>	<b>644,225,328</b>	<b>8,382,848</b>

## 貸借対照表(特別事業)

平成23年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	56,456,379	11,394,598	45,061,781
前払金	8,095,934	8,923,934	△ 828,000
未収金	41,130,249	59,413,714	△ 18,283,465
貯蔵品	2,982,065	3,672,673	△ 690,608
流動資産合計	108,664,627	83,404,919	25,259,708
2. 固定資産			
特定資産			
退職給付引当預金	23,000,000	23,000,000	0
機器購入積立預金	44,475,588	80,840,388	△ 36,364,800
特定資産合計	67,475,588	103,840,388	△ 36,364,800
その他の固定資産			
建物附属設備	24,519,365	16,212,812	8,306,553
器具備品	105,590,769	111,483,155	△ 5,892,386
元入金	△ 137,515,855	△ 108,263,437	△ 29,252,418
その他の資産合計	△ 7,405,721	19,432,530	△ 26,838,251
無形固定資産			
ソフトウェア	9,236,522	6,380,919	2,855,603
無形固定資産合計	9,236,522	6,380,919	2,855,603
固定資産合計	69,306,389	129,653,837	△ 60,347,448
<b>資産合計</b>	<b>177,971,016</b>	<b>213,058,756</b>	<b>△ 35,087,740</b>
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
預り金	0	0	0
未払金	48,682,209	19,754,619	28,927,590
未払法人税等	70,000	8,157,900	△ 8,087,900
流動負債合計	48,752,209	27,912,519	20,839,690
2. 固定負債			
退職給付引当金	29,453,420	27,320,383	2,133,037
固定負債合計	29,453,420	27,320,383	2,133,037
<b>負債合計</b>	<b>78,205,629</b>	<b>55,232,902</b>	<b>22,972,727</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
指定正味財産	0	0	0
一般正味財産	99,765,387	157,825,854	△ 58,060,467
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
<b>正味財産合計</b>	<b>99,765,387</b>	<b>157,825,854</b>	<b>△ 58,060,467</b>
<b>負債・正味財産</b>	<b>177,971,016</b>	<b>213,058,756</b>	<b>△ 35,087,740</b>

## Ⅱ 正味財産増減計算書総括表

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位：円)

科 目	合 計 額	一般事業会計	特別事業会計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	225,096	225,096	0
運用財産運用収入	109,760	74,357	35,403
寄付金収入	276,000,000	276,000,000	0
ウェルネス事業収入	709,971	709,971	0
健診事業収入	601,422,721	0	601,422,721
雑収入	347,030	347,030	0
経常収益計	878,814,578	277,356,454	601,458,124
(2) 経常費用			
事業費			
体力研究事業費	106,077,293	106,077,293	0
研究助成事業費	18,550,874	18,550,874	0
ウェルネス事業費	48,667,624	48,667,624	0
管理費	100,343,107	100,343,107	0
健診事業費	659,260,084	0	659,260,084
経常費用計	932,898,982	273,638,898	659,260,084
当期経常増減額	△ 54,084,404	3,717,556	△ 57,801,960
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却額	26,922	16,287	10,635
固定資産除却損	605,503	427,631	177,872
経常外費用計	632,425	443,918	188,507
当期経常外増減額	△ 632,425	△ 443,918	△ 188,507
税引前当期一般正味財産増減額	△ 54,716,829	3,273,638	△ 57,990,467
法人税、住民税及び事業税	120,000	50,000	70,000
当期一般正味財産増減	△ 54,836,829	3,223,638	△ 58,060,467
一般正味財産期首残高	737,461,040	579,635,186	157,825,854
一般正味財産期末残高	682,624,211	582,858,824	99,765,387
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>682,624,211</b>	<b>582,858,824</b>	<b>99,765,387</b>

## 正味財産増減計算書(一般事業)

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	225,096	571,918	△ 346,822
運用財産運用収入	74,357	87,277	△ 12,920
寄付金収入	276,000,000	276,000,000	0
ウエルネス事業収入	709,971	1,241,576	△ 531,605
雑収入	347,030	697,037	△ 350,007
経常収益計	277,356,454	278,597,808	△ 1,241,354
(2) 経常費用			
事業費			
体力研究事業費	106,077,293	105,603,713	473,580
研究助成事業費	18,550,874	32,418,202	△ 13,867,328
ウエルネス事業費	48,667,624	51,515,488	△ 2,847,864
事業費計	173,295,791	189,537,403	△ 16,241,612
管理費			
管理費	100,343,107	87,261,543	13,081,564
管理費計	100,343,107	87,261,543	13,081,564
経常費用計	273,638,898	276,798,946	△ 3,160,048
当期経常増減額	3,717,556	1,798,862	1,918,694
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却額	16,287	0	16,287
固定資産除却損	427,631	661,880	△ 234,249
経常外費用計	443,918	661,880	△ 217,962
当期経常外増減額	△ 443,918	△ 661,880	217,962
税引前当期一般正味財産増減額	3,273,638	1,136,982	2,136,656
法人税、住民税及び事業税	50,000	50,000	0
当期一般正味財産増減	3,223,638	1,086,982	2,136,656
一般正味財産期首残高	579,635,186	578,548,204	1,086,982
一般正味財産期末残高	582,858,824	579,635,186	3,223,638
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>582,858,824</b>	<b>579,635,186</b>	<b>3,223,638</b>

## 事業費及び管理費明細書(一般事業)

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>I 体力医学研究事業費</b>	<b>106,077,293</b>	<b>Ⅲ ウェルネス事業費</b>	<b>48,667,624</b>
1. 人 件 費	67,229,827	1. 人 件 費	29,494,380
役 職 員 給 料	56,986,838	役 職 員 給 料	25,427,862
法 定 福 利 費	8,125,074	法 定 福 利 費	3,351,064
福 利 厚 生 費	2,117,915	福 利 厚 生 費	715,454
2. 研 究 費	38,847,466	2. 事 業 費	19,173,244
旅 費 交 通 費	1,368,586	光 熱 水 費	724,958
通 信 費	1,409,647	賃 借 料	8,478,048
印 刷 費	1,134,888	不 動 産 管 理 費	5,015,760
備 品 消 耗 品 費	1,459,263	通 信 印 刷 費	305,270
図 書 購 入 費	2,294,749	備 品 消 耗 品 費	216,339
材 料 費	270,548	フ ィ ッ ト ネ ス 費	900,927
医 薬 品 費	213,501	減 価 償 却 費	2,402,390
研 究 調 査 費	690,374	そ の 他 費 用	1,129,552
研 究 諸 費	2,537,142	<b>事 業 費 合 計</b>	<b>173,295,791</b>
光 熱 水 費	1,647,534	<b>Ⅳ 管理費</b>	<b>100,343,107</b>
賃 借 料	17,135,640	1. 人 件 費	47,643,009
不 動 産 管 理 費	5,043,264	役 職 員 給 料	34,264,915
機 器 保 守 管 理 費	1,104,618	法 定 福 利 費	4,649,317
リ ー ス 料	613,550	福 利 厚 生 費	1,476,860
減 価 償 却 費	1,160,177	派 遣 経 費	3,470,564
そ の 他 費 用	763,985	退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	3,781,353
<b>Ⅱ 研究助成事業費</b>	<b>18,550,874</b>	2. 事 務 費	52,700,098
1. 助 成 金	15,000,000	会 議 費	1,498,202
研 究 助 成 金	15,000,000	賃 借 料	9,624,424
2. 事 務 費	3,550,874	不 動 産 管 理 費	5,851,716
論 文 集 刊 行 費	1,943,500	リ ー ス 料	1,046,300
事 務 費	1,407,374	光 熱 水 費	411,910
学 会 等 賛 助 金	200,000	通 信 印 刷 費	1,420,186
		調 査 ・ 諸 謝 金	2,241,642
		備 品 消 耗 品 費	398,094
		シ ス テ ム 関 係 費	7,465,666
		減 価 償 却 費	12,350,175
		租 税 公 課	6,150,339
		そ の 他 費 用	4,241,444
		<b>事 業 費 及 び 管 理 費 合 計</b>	<b>273,638,898</b>

## 正味財産増減計算書(特別事業)

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
運用財産運用収入	35,403	44,227	△ 8,824
健診事業収入	601,422,721	645,993,128	△ 44,570,407
雑収入	0	8,312,702	△ 8,312,702
経常収益計	601,458,124	654,350,057	△ 52,891,933
(2) 経常費用			
事業費			
健診事業費	659,260,084	632,543,914	26,716,170
事業費計	659,260,084	632,543,914	26,716,170
経常費用計	659,260,084	632,543,914	26,716,170
当期経常増減額	△ 57,801,960	21,806,143	△ 79,608,103
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却額	10,635	0	10,635
固定資産除却損	177,872	58,618	119,254
経常外費用計	188,507	58,618	129,889
当期経常外増減額	△ 188,507	△ 58,618	△ 129,889
税引前当期一般正味財産増減額	△ 57,990,467	21,747,525	△ 79,737,992
法人税、住民税及び事業税	70,000	8,157,900	△ 8,087,900
当期一般正味財産増減	△ 58,060,467	13,589,625	△ 71,650,092
一般正味財産期首残高	157,825,854	144,236,229	13,589,625
一般正味財産期末残高	99,765,387	157,825,854	△ 58,060,467
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>99,765,387</b>	<b>157,825,854</b>	<b>△ 58,060,467</b>

## 事業費明細書(特別事業)

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
<b>健 診 事 業 費</b>	<b>659,260,084</b>
1. 人 件 費	353,733,706
役 職 員 給 料	305,531,935
法 定 福 利 費	26,307,776
福 利 厚 生 費	7,633,143
派 遣 経 費	12,127,815
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	2,133,037
2. 健 診 費	305,526,378
医 薬 品 費	45,209,124
材 料 費	10,345,633
備 品 消 耗 品 費	9,397,028
修 繕 費	9,743,080
機 器 保 守 契 約 費	16,376,242
通 信 費	13,437,953
印 刷 費	5,992,743
業 務 開 拓 費	14,813,145
研 究 助 成 費	17,157,317
リ ー ス 料	11,066,198
賃 借 料	52,795,504
不 動 産 管 理 費	30,930,457
光 熱 水 費	7,101,285
嘱 託 医 関 係 費	538,268
シ ス テ ム 関 係 費	12,588,247
減 価 償 却 費	40,096,931
租 税 公 課	2,605,810
そ の 他 費 用	5,331,413
<b>特 別 事 業 費 合 計</b>	<b>659,260,084</b>

## 計 算 書 類 に 関 す る 注 記

1. この計算書類は「新公益法人会計基準」によって作成されております。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産の減価償却の方法は定額法によっております。

(2) 退職給付引当金の計上基準

自己都合による期末要支給額に基づいて計上しております。

(3) 消費税等会計処理について

税抜き処理によっております。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及び残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
	円	円	円	円
基本財産				
普通預金	70,000,000		70,000,000	0
定期預金	180,000,000	70,000,000	0	250,000,000
小 計	250,000,000	70,000,000	70,000,000	250,000,000
特定資産				
退職給付引当金	74,985,245	0	0	74,985,245
機器購入積立預金	123,435,417	0	55,167,600	68,267,817
50周年記念積立預金	4,000,000	0	0	4,000,000
小 計	202,420,662	0	55,167,600	147,253,062
合 計	452,420,662	70,000,000	125,167,600	397,253,062

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりであります。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
	円	円	円
建物附属設備	46,194,817	14,014,069	32,180,748
器 具 備 品	375,318,145	231,084,743	144,233,402
小 計	421,512,962	245,098,812	176,414,150
ソフトウェア	37,638,255	-	26,482,751
合 計	459,151,217	245,098,812	202,896,901

5. リース料

	1年以内	1年超	合 計
	円	円	円
未経過リース料期末残高相当額	13,729,800	24,751,340	38,481,140

### Ⅲ 財 産 目 録

平成23年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
<b>I 資 産 の 部</b>		
1. 流 動 資 産		
現 金 預 金	891,404	
現 普 通 預 金	172,424,040	
未 収 料 金	41,130,249	
健 診 料 金	12,122,261	
前 払 品 材	763,022	
貯 蔵 品 薬 品	2,219,043	
流 動 資 産 合 計		229,550,019
2. 固 定 資 産		
(1)基 本 財 産		
定 期 預 金	250,000,000	
基 本 財 産 合 計	250,000,000	
(2)特 定 資 産		
退 職 給 付 引 当 預 金	74,985,245	
機 器 購 入 積 立 預 金	68,267,817	
50周 年 記 念 積 立 預 金	4,000,000	
特 定 資 産 合 計	147,253,062	
(3)そ の 他 の 固 定 資 産		
建 物 附 属 設 備	32,180,748	
器 具 備 品	144,233,402	
電 話 加 入 権	863,700	
リ サ イ ク ル 預 託 金	15,510	
そ の 他 の 固 定 資 産 合 計	177,293,360	
(4)無 形 固 定 資 産		
ソ フ ト ウ ェ ア	26,482,751	
無 形 固 定 資 産 合 計	26,482,751	
固 定 資 産 合 計		601,029,173
資 産 合 計		830,579,192
<b>Ⅱ 負 債 の 部</b>		
1. 流 動 負 債		
未 払 金 (健 診 事 業 費 等)	78,436,732	
未 払 法 人 税 等	120,000	
預 り 金 (所 得 税 住 民 税 等)	5,633,064	
流 動 負 債 合 計		84,189,796
2. 固 定 負 債		
退 職 給 付 引 当 金	63,765,185	
固 定 負 債 合 計		63,765,185
負 債 合 計		147,954,981
正 味 財 産		682,624,211

以上のとおり相違ありません。

平成23年 6月10日

財団法人 明治安田厚生事業団

理事長	米田克巳	理事	宮坂信之
理事	栗原敏	理事	加賀谷淳子
理事	香川芳子	理事	馬詰良樹
理事	芝山秀太郎	理事	貴島政邑
理事	佐藤安弘	理事	高井邦美
理事	蔵本博行	理事	福島幸彦

以上調査の結果、法令および寄付行為にもとづき正確であることを認めます。

平成23年 6月10日

監事 富林和雄  
監事 永田誠

# 独立監査人の監査報告書

平成23年 4 月22日

財団法人 明治安田厚生事業団

理事長 米 田 克 巳 殿

川上公認会計士事務所

公認会計士

白子公認会計士事務所

公認会計士

私たちは、財団法人明治安田厚生事業団の平成22年 4 月 1 日から平成23年 3 月31日までの第49期事業年度の下記の財務諸表及び収支計算書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

## 記

### I 財務諸表

1. 一般事業会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
2. 特別事業会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
3. 貸借対照表総括表
4. 正味財産増減計算書総括表
5. 財産目録

### II 収支計算書

1. 一般事業会計の収支計算書
2. 特別事業会計の収支計算書
3. 収支計算書総括表

この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、私たちの責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私たちに財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。私たちは、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

監査の結果、私たちの意見は次のとおりである。

- (1) 財務諸表は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、財団法人明治安田厚生事業団の第49期事業年度末日現在の財政状態並びに同事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年 3 月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に従って、財団法人明治安田厚生事業団の第49期事業年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

財団法人明治安田厚生事業団と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

# 平成23年度経営計画

## I 基本方針

広く一般の健康増進に寄与するため、体力医学研究事業、健診事業、ウェルネス事業を三位一体で推進する態勢を強化するとともに、研究助成事業を継続実施するほか、公益活動の一環として東日本大震災の被災者支援を行う。

また、平成23年度中に公益法人への移行を目指す。

### 1. 体力医学研究事業

運動を活用したメンタルヘルスの維持改善を図るために、運動の効果に関わる要因や仕組みを検討する基礎研究、ならびにライフステージに応じた身体活動や運動の効用を検討する実践研究を推進し、学術書の作成ならびに論文化を目指す。また、学術室と連携し、健診データを活用した研究体制の確立を図る。さらに、講演や講義などの実施を通して研究成果を広く一般の健康づくりに役立つ普及啓発活動を行う。加えて、東日本大震災の被災者に対するメンタルヘルスケアのための運動プログラムを作成し、支援活動を実施する。

### 2. 健診事業

健診事業では、これまで健診は午前中のみ実施してきたが、人間ドックの質の向上と人間ドック以外の健診コースの効率化を図り、さらに住民健診を推進するため「午後健診」を新設する計画。また、診断精度をより高めるために最新の検体検査方法を導入予定。さらに健診センター内に学術室を開設し、これまで以上に健診データの活用を推進し、体力医学研究事業ならびにウェルネス事業と連携した健康増進のための調査・研究・健康づくりサービスを充実させる計画。加えて、東日本大震災の被災者に対するまごころ健診（無料）を東京都、新宿区等と連携して実施する。

### 3. ウェルネス事業

ウェルネス事業では、ウェルネス開発室が科学的な健康づくりサービスを開発・提供し、その成果を広く紹介・活用することによって、健康増進活動を推進する。特に、健診結果に応じたプライマリ健康づくり支援としての健康支援室から始める一連の健康づくりプログラムを整備し、健診結果の改善効果を検証する。さらに、学術室と連携し、社会のニーズに応える新しい健康づくりプログラムを検討する。加えて、東日本大震災の被災者に対する健康保持を目的とする運動メニューを作成し、実技指導を実施する。

### 4. 研究助成事業

健康医科学研究助成の継続実施により、健康科学分野に関わる若手の研究者を支援する。また、助成金運営規程の策定、選考基準の明文化、および歴代受贈者における研究動向を確認する。

## Ⅱ 実行計画

### 〔体力医学研究事業〕

#### 1. コアスタディ「運動を活用した心身の健康増進に関する研究」

- ア. 基礎研究：メンタルヘルス改善に及ぼす運動の要因および仕組みの検討
- イ. 実践研究：ライフステージに応じた運動の有効性の検討
- ウ. 学術書の作成
- エ. 学術室との連携
- オ. コアスタディデータを活用した東日本大震災被災者の支援

#### 2. 研究室研究

- ア. 姿勢制御機構
- イ. ストレスの客観評価
- ウ. 親子の運動習慣
- エ. 住民ボランティア活動の効用

#### 3. 外部機関との共同研究

- ア. 高齢者の軽症うつ病と運動
- イ. 高齢者の身体活動や外出に関わる環境要因

### 〔健診事業〕

#### 1. 健診受診者対策

- ア. 人間ドックの質の向上と人間ドック以外の健診コースの効率化
- イ. 住民健診を推進するため「午後健診」の新設
- ウ. 時間定員制を継続し、スムーズで気持ちよいサービスの提供
- エ. ウェルネス開発室と連携した健康づくりサービスの提供
- オ. 東京都、新宿区等と連携した東日本大震災被災者の無料健康診断の受入

#### 2. 受診クオリティ向上対策

- ア. 学術室による、健診データを活用した研究から得られた成果等の健診受診者へのフィードバック
- イ. 診断精度をより高めるための最新の検体検査方法の導入
- ウ. オプション検査の新設（動脈硬化・婦人科関係など）
- エ. 社外研修制度の積極活用による健診技術・精度の向上

#### 3. 収支均衡化対策

- ア. 新規健康保険組合の開拓、低稼働大型健康保険組合の活性化、新宿地区の既契約総合健康保険組合傘下事業所への新規勧奨
- イ. 予約代行会社の健診コースに即した態勢の整備
- ウ. インターネット、モバイルを含めた予約方法の簡便化

## 〔ウェルネス事業〕

### 1. 「健康支援室」から始まる一連の健康づくりプログラムの整備

- ア. 健康支援プログラム
  - ・「健康支援室」の改善実施
  - ・「生活チェック」の改善実施
  - ・「生活改善サポート」の改善実施
- イ. 運動健診プログラム
  - ・「運動健診」受診者増加対策
  - ・「生活改善健診」の継続
  - ・「血管フィットネス」の検討
- ウ. 運動実践プログラム
  - ・「MYヘルスプログラム」「ヘルスアップMYレージ」の発展
  - ・「血管の健康づくり」の新設

### 2. 学術室との連携

- ア. 学術室との連携による、新しいプログラムの開発
  - ・メンタルヘルスに効果的な運動メニューの開発
  - ・健診受診者の個々人に応じた健康プログラムの検討

### 3. 健康づくりプログラムの積極的な広報

- ア. ホームページの活用
  - ・プログラムの紹介、募集、成果を掲載
- イ. 専門的、学術的活動
  - ・学会等で開発した成果の報告
  - ・講習会等での専門的能力の向上
- ウ. 自治体・企業・団体での健康啓蒙
  - ・行政や企業、団体への保健事業支援
  - ・セミナーや講演会等への講師派遣

### 4. 被災者に対する健康支援

- ア. 被災者の健康保持を目的とした運動メニューの開発
- イ. 健診受診後や避難所における実技指導実施

## 〔研究助成事業〕

### 1. 健康医科学研究助成の実施

- ア. 若手研究者による健康医科学研究を支援するための助成
- イ. 実施要綱
  - ・1件100万円程度を助成（総額1,500万円）
  - ・公募期間 平成23年6月～10月
  - ・選考委員会 平成23年12月

### 2. 論文集の発行

- ア. 第27回健康医科学研究助成論文集の発行 平成24年3月
- イ. 研究助成論文優秀賞の選定

### 3. 研究助成制度の整備

- ア. 研究助成運営規程の策定、選考基準の明文化
- イ. 歴代受贈者の現在の研究動向の確認

# 平成23年度収支予算書

## 収支予算書総括表

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	計	一般事業	特別事業
<b>I 事業活動収支の部</b>			
1. 事業活動収入			
財産運用収入	700	600	100
寄付金収入	276,000	276,000	0
ウェルネス事業収入	700	700	0
健診事業収入	620,000	0	620,000
その他の収入	1,000	600	400
事業活動収入計	898,400	277,900	620,500
2. 事業活動支出			
研究事業費	107,772	107,772	0
研究助成事業費	32,380	32,380	0
ウェルネス事業費	48,448	48,448	0
管理費	88,635	88,635	0
健診事業費	620,487	0	620,487
事業活動支出計	897,722	277,235	620,487
事業活動収支差額	678	665	13
<b>II 投資活動収支の部</b>			
1. 投資活動収入			
積立預金取崩収入	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
固定資産購入支出	0	0	0
特定預金支出	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
<b>III 財務活動収支の部</b>			
1. 財務活動収入	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出	0	0	0
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
<b>IV 予備費支出</b>			
予備費	450	450	0
当期収支差額	<b>228</b>	<b>215</b>	<b>13</b>

## 収支予算書(一般事業)

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減 額	備 考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
1. 事業活動収入				
財産運用収入	600	1,228	△ 628	
寄付金収入	276,000	276,000	0	
ウェルネス事業収入	700	4,345	△ 3,645	
その他の収入	600	464	136	
事業活動収入計	277,900	282,037	△ 4,137	
2. 事業活動支出				
研究事業費	107,772	106,267	1,505	
研究助成事業費	32,380	32,000	380	
ウェルネス事業費	48,448	47,863	585	
事業費支出計	( 188,600)	( 186,130)	( 2,470)	
管理費支出計	88,635	99,084	△ 10,449	
事業活動支出計	277,235	285,214	△ 7,979	
事業活動収支差額	665	△ 3,177	3,842	
<b>II 投資活動収支の部</b>				
1. 投資活動収入				
積立預金取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
固定資産購入支出	0	0	0	
特定預金支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
<b>III 財務活動収支の部</b>				
1. 財務活動収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
<b>IV 予備費支出</b>				
予 備 費	450	5,000	△ 4,550	
当期収支差額	215	△ 8,177	8,392	

## 事業費予算及び管理費予算明細書(一般事業)

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>I 体力医学研究事業費</b>	<b>107,772</b>	<b>Ⅲ ウェルネス事業費</b>	<b>48,448</b>
1. 人 件 費	70,581	1. 人 件 費	28,551
役 職 員 給 料	60,246	役 職 員 給 料	24,530
法 定 福 利 費	8,153	法 定 福 利 費	3,300
福 利 厚 生 費	2,182	福 利 厚 生 費	721
2. 研 究 費	37,191	2. 事 業 費	19,897
旅 費 交 通 費	1,220	賃 借 料	8,478
通 信 費	1,500	不 動 産 管 理 費	5,016
備 品 消 耗 品 費	1,400	光 熱 水 費	740
図 書 購 入 費	2,000	リ ー ス 料	1,123
印 刷 費	1,146	フ ィ ッ ト ネ ス 費	900
機 器 保 守 管 理 費	1,050	開 発 調 査 費	250
光 熱 水 費	1,835	減 価 償 却 費	2,348
賃 借 料	17,136	そ の 他 費 用	1,042
不 動 産 管 理 費	4,980	<b>事 業 費 合 計</b>	<b>188,600</b>
研 究 調 査 費	840	<b>Ⅳ 管 理 費</b>	<b>88,635</b>
研 究 諸 費	2,000	1. 人 件 費	37,964
リ ー ス 料	306	役 職 員 給 料	28,764
減 価 償 却 費	946	法 定 福 利 費	4,500
そ の 他 費 用	832	福 利 厚 生 費	1,220
<b>Ⅱ 研究助成事業費</b>	<b>32,380</b>	派 遣 経 費	3,480
1. 助 成 金	15,000	2. 事 務 費	50,671
研 究 助 成 金	15,000	会 議 費	1,450
2. 事 務 費	5,380	賃 借 料	9,624
論 文 集 刊 行 費	2,100	不 動 産 管 理 費	5,852
事 務 費	3,180	光 熱 水 費	420
学 会 等 賛 助 金	100	リ ー ス 料	800
3. 寄 付 金	12,000	通 信 印 刷 費	1,400
指 定 寄 付 金	12,000	調 査 ・ 諸 謝 金	2,190
		備 品 消 耗 品 費	500
		シ ス テ ム 関 係 費	7,242
		減 価 償 却 費	7,993
		租 税 公 課	5,700
		そ の 他 費 用	7,500
		<b>事 業 費 及 び 管 理 費 合 計</b>	<b>277,235</b>

## 収支予算書(特別事業)

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減 額	備 考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
1. 事業活動収入				
財産運用収入	100	180	△ 80	
健診事業収入	620,000	605,000	15,000	
その他の収入	400	0	400	
事業活動収入計	620,500	605,180	15,320	
2. 事業活動支出	620,487	593,540	26,947	
事業活動支出計	620,487	593,540	26,947	
事業活動収支差額	13	11,640	△ 11,627	
<b>II 投資活動収支の部</b>				
1. 投資活動収入				
積立預金取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
固定資産購入支出	0	0	0	
特定預金支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
<b>III 財務活動収支の部</b>				
1. 財務活動収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
<b>IV 予備費支出</b>				
予備費	0	3,463	△ 3,463	
当期収支差額	13	8,177	△ 8,164	

## 債務負担額

(単位：千円)

年 度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
機器等リース支払額合計	13,729	12,916	11,296
機器等リース残高額合計	26,649	15,278	6,444

## 事業費予算明細書(特別事業)

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	金 額
<b>健 診 事 業 費</b>	<b>620,487</b>
1. 人 件 費	348,314
役 職 員 給 料	301,276
法 定 福 利 費	26,750
福 利 厚 生 費	7,488
派 遣 経 費	12,800
2. 健 診 費	272,173
医 薬 品 費	37,900
材 料 費	11,000
備 品 消 耗 品 費	8,000
修 繕 費	10,000
機 器 保 守 契 約 費	14,636
印 刷 費	5,000
通 信 費	12,432
業 務 開 拓 費	7,300
研 究 助 成 費	5,300
リ ー ス 料	11,000
賃 借 料	53,268
不 動 産 管 理 費	30,930
光 熱 水 費	7,347
租 税 公 課	1,771
シ ス テ ム 関 係 費	11,000
減 価 償 却 費	40,000
そ の 他 費 用	5,289
<b>特 別 事 業 費 合 計</b>	<b>620,487</b>

## 役員名簿

(平成23年6月10日現在)

理事長	米田克巳	
理事	栗原敏	学校法人慈恵大学理事長・東京慈恵会医科大学学長
理事	香川芳子	女子栄養大学学長
理事	芝山秀太郎	鹿屋体育大学名誉教授
理事	佐藤安弘	キリンホールディングス株式会社名誉相談役
理事	蔵本博行	北里大学名誉教授
理事	宮坂信之	東京医科歯科大学教授・医学部附属病院長
理事	加賀谷淳子	日本女子体育大学名誉教授
理事	馬詰良樹	東京慈恵会医科大学名誉教授
理事	貴島政邑	
理事	高井邦美	
理事	福島幸彦	
監事	富林和雄	明治安田生命保険相互会社関連事業部長
監事	永田誠	明治安田生命保険相互会社監査委員会事務局審議役

## 評 議 員 名 簿

(平成23年6月10日現在)

仲 村 英 一	元結核予防会理事長
浅 見 高 明	筑波大学名誉教授
柴 田 博	人間総合科学大学保健医療学部学部長・大学院教授
菅 原 弘 子	福祉自治体ユニット事務局長
波 多 健治郎	明治安田生命保険相互会社特別顧問
大 島 雄 次	明治安田生命保険相互会社特別顧問
下 門 顯太郎	東京医科歯科大学大学院教授
上 坊 敏 子	社会保険相模野病院婦人科腫瘍センター長
江 橋 博	東亜大学大学院教授
内 田 賢	東京慈恵会医科大学教授
三 好 裕 司	明治安田生命健康保険組合東京診療所長

## 平成23年度役員名簿

理事長	米田克巳	
理事	栗原敏	学校法人慈恵大学理事長・東京慈恵会医科大学学長
理事	香川芳子	女子栄養大学学長
理事	芝山秀太郎	鹿屋体育大学名誉教授
理事	佐藤安弘	キリンホールディングス株式会社名誉相談役
理事	蔵本博行	北里大学名誉教授
理事	宮坂信之	東京医科歯科大学教授・医学部附属病院長
理事	加賀谷淳子	日本女子体育大学名誉教授
理事	馬詰良樹	東京慈恵会医科大学名誉教授
理事	貴島政邑	
理事	福島幸彦	
理事	須山靖男	
監事	富林和雄	明治安田生命保険相互会社関連事業部長
監事	永田誠	明治安田生命保険相互会社監査委員会事務局審議役

## 平成23年度評議員名簿

仲村英一	元結核予防会理事長
浅見高明	筑波大学名誉教授
柴田博	人間総合科学大学保健医療学部学部長・大学院教授
菅原弘子	福祉自治体ユニット事務局長
波多健治郎	明治安田生命保険相互会社特別顧問
大島雄次	明治安田生命保険相互会社特別顧問
下門顯太郎	東京医科歯科大学大学院教授
上坊敏子	社会保険相模野病院婦人科腫瘍センター長
江橋博	東亜大学大学院教授
内田賢	東京慈恵会医科大学教授
三好裕司	明治安田生命健康保険組合東京診療所長